



奈良市議会議員

太田こうじ

夢づくり、 安心づくり、 奈良づくり

市政報告

あそがき通信

Vol.18

令和4年度9月 定例会のご報告

平素より私の政治活動にご理解を賜り、ありがとうございます。

7月の参議院議員選挙では自由民主党に対して信託をいた
だく結果となりましたが、大和西大寺駅周辺において応援演
説中の安倍元総理が凶弾に斃れる痛ましい事件が起こりまし
た。歴史に残る事実を風化させないためにも、背景にみえる
警備上や社会福祉等の課題に対して奈良市としても本腰で取
り組む必要があります。

さて、市議会9月定例会では令和3年度一般会計決算認定
等をめぐる審議が行われ、歳入から歳出を差し引いた形式収
支額が約63億円、また形式収支額から翌年度へ繰り越すべき
財源を差し引いた実質収支額は約55億円となりました。経常
収支比率(経常経費以外に使える財源の指標)は91.1%
となり、平成29〜30年度に100%を超えるなど硬直化して
いた時期と比較すると大きく改善しています。しかし、新型
コロナウイルス感染症の影響で事業が執行できなかったこと
による歳出の抑制も原因の一つです。

本市の自主財源は38%と残りの財源を国や県からの支出金
や市債で充当している状況であり、以前から私が議会で取り
上げてきたように市の公有財産を活用する等、財源の確保
に引き続き取り組んでいく必要があります。

今号では、議会質疑の内容のほか、交通に関する市政情報、
また6月から拝命しました議会運営委員長の取組みの一部を
ご紹介させていただきます。

○経歴 昭和54年(1979年)奈良市生まれ。市立あやめ池小学校卒、
大阪明星中学・高等学校卒。関西学院大学法学部卒。
2013年7月より奈良市議会議員(現在3期目)
自民党奈良市議会・結の会に所属。
厚生消防委員会委員、議会運営委員会委員長。

奈良市議会議員 太田晃司事務所
〒631-0033 奈良市あやめ池南五丁目2-18
Tel: 0742-40-5015
Fax: 0742-40-5016
Mail: info@otakoji.net

議会運営委員会の役割とは？

今年6月の役員改選で私は議会運営委員長に就任いたしました。議会運営委員会では、議会の運営を円滑に行うため、会期や議案等の取り扱いなど、議会の運営全般について中心的な役割を担う委員会です。委員は各会派から選出され現在10名で、会議の様子はインターネット中継されています。

令和4年9月定例会の日程

9月1日	定例会内示会(議案説明)、幹事長会、 常任委員会正副委員長打合せ、 議会運営委員会 、 意見書調整会議
9月2日	
9月3日	
9月4日	
9月5日	
9月6日	四者協議、幹事長会、 議会運営委員会
9月7日	
9月8日	本会議(開会・議案提案)、予算決算委員会、 四者協議
9月9日	四者協議、 議会運営委員会
9月10日	
9月11日	
9月12日	
9月13日	本会議(一般質問・代表質問)、 予算決算委員会(資料要求ヒアリング)
9月14日	本会議(一般質問・個人質問①)、意見書調整会議
9月15日	本会議(一般質問・個人質問②)、予算決算委員会
9月16日	
9月17日	
9月18日	
9月19日	
9月20日	
9月21日	予算決算委員会(厚生消防分科会・観光文教分科会)
9月22日	予算決算委員会(建設企業分科会・市民環境分科会)
9月23日	
9月24日	
9月25日	
9月26日	予算決算委員会(総務分科会)、意見書調整会議
9月27日	
9月28日	予算決算委員会(総括質疑)、同(討論・採決)
9月29日	四者協議
9月30日	幹事長会、 議会運営委員会 、本会議(討論・採決)



9/1 開催の主な協議内容

- ・定例会初日の進行手順について
- ・予算決算委員会での審査の方法について
- ・発言通告書及び資料要求書のペーパレス化について
- ・陳情、意見書について

9/6 開催の主な協議内容

- ・市長欠席による定例会初日の運営について

9/9 開催の主な協議内容

- ・市長提案の追加議案(2件)の取扱いについて

9/30 開催の主な協議内容

- ・定例会最終日の進行手順について
- ・意見書について
- ・その他、一般質問に関する申合せについて

Memo

基本的には1つの定例会ごとに内示会開催日と本会議最終日に各会派の幹事長会議のあとに議会運営委員会を開催するのが通例です。今定例会のように議案の追加提案、また市長欠席等の場合、その都度委員会を開催して、各会派の考えをまとめて議会運営を決定しています。また幹事長会議に諮る前には正副議長、議会運営正副委員長の4者で会議の進め方を協議する場を都度設けています。

9月定例会他議会質疑の 主な項目のご紹介

9月定例会

◎子ども医療費助成の 現物給付方式が高校生まで拡大

予算決算委員会 厚生消防分科会 (9月)

子ども医療費助成について、奈良市は未就学児までの現物給付方式(※1)を適用しており、小学生・中学生までは自動償還方式(※2)の制度となっています。この度、現物給付方式の対象を令和4年度当初予算で中学生まで、また9月定例会議決の補正予算で18歳(高校卒業程度)

令和4年度現在の制度

月ごとの限度額	0～6歳	小・中学生	高校生
県内受診	現物給付方式	自動償還方式	—
通院	500円	1000円	—
入院*	1000円	1000円	—

※(14日未満の入院は500円)

令和5年度以降、本市が拡大をする制度

月ごとの限度額	0～6歳	小・中学生	高校生
県内受診	現物給付方式	現物給付方式	現物給付方式
通院	500円	1000円	1000円
入院*	1000円	1000円	1000円

※(14日未満の入院は500円)

まで拡大適用することとなりました。制度開始は来年度以降になる見通しです。

令和4年4月現在では中核市62市のなかで小学生以上に対して現物給付制度を適用していなかったのは奈良市と他1市だけで長年の議会からの指摘事項でもあり、本市としてもようやく足並みがそろったと言えます。

今後の制度の開始が待たれますが、自治体によっては一部負担金額には差があります(たとえば木津川市では負担金額は200円)。委員会で私は、より安心して子育てを続けるためにも、奈良市としてこうした金額面での近隣自治体との差額も見直しが必要ではないかと指摘をしました。

※1 現物給付方式：医療機関受診時に窓口で受給資格証(現物給付用)と健康保険証を提示することで、一部負担金のみを支払って医療を受けることができる方法

※2 自動償還方式：一部負担金の支払い額が、後日に銀行口座などに振り込まれる制度

市内のバス15路線 見直しへ

市政情報

令和3年8月に奈良交通から奈良市へ提出された「市内バスネットワーク維持に向けた協議の申し入れ」は市内15のバス路線見直しを求める内容であり、それぞれの地域で大きな課題として受け止められています。具体的には東部地域路線(4)、小型による地域路線(8)、生駒・大和郡山を含む広域基幹路線(3)の路線です。

申し入れ理由は、少子化・高齢化による人口減少と共に、新型コロナウイルス感染症によるバス利用者の減少などが挙げられており、該当する15路線については現行の仕組みでは維持が極めて難しいとのことでした。

たしかに市内大手のバス運行会社は地域公共交通の大きな役割を依頼することには限界があり、奈良市として空白の恐れのある地域公共交通については、代替手段を含めどのような最適解を導き出すかを考える時期に来ていることは間違いありません。私が活動拠点とするあやめ池地区においても通称「あやめ池線」(学園前



奈良交通本社へ要望書を提出

駅(阪奈菅原まで循環)が運行されており、見直し15路線に含まれています。本線は地域住民にとって無くてはならない公共交通の手段として必要であり、廃止については何としても避けなければ課題です。5月にはあやめ池地区連合会、伏見地区連合会の両会長と共に、小林茂樹衆議院議員にご案内をいただき、私も同席の上、奈良交通本社にて役員と面談をさせていただき市内路線バスに関する要望書をお渡しさせて頂いたところで

リトルベビーハンド ブック作成へ

厚生消防委員会 (7月)

早産などで体が小さく生まれた低出生体重児(2500g未満)のなかでも1500g未満で出生した赤ちゃんに対する取組のご紹介です。

現行の母子健康手帳では、発育曲線について体重は1kg以上のメモリ、身長は40cm以上のメモリからの表記となっており、1000gにも満たない超低出生体重児の場合は、表記をする箇所が無いのが現状です。我が子も低出生体重児として誕生しただけに、同じ思いをされているお父さんお母さんと課題を共有してき



先進的に取組んでいる静岡県の
リトルベビーハンドブック

静岡県ではリトルベビーハンドブックという名称で、小さく生まれた赤ちゃんに合った発育曲線の表示があり、修正月齢に応じた育児や治療の記録が書き込める工夫がされており、全国でもその動きが徐々に広がっています。

今回、令和4年の奈良県予算では低出生体重児ハンドブック作成のための予算が計上されることとなり、年内の作成に向けたリトルベビーハンドブック作成検討会に奈良市も事務局として参加いただいています。令和元年度は奈良市内で産まれた2160名の赤ちゃんのうち2500g未満の体重児が約180名、さらに1500g未満で産まれた赤ちゃんは10名とのこと。安心安全に子育てができる環境づくりを目指し、引き続き市議会から情報発信を努めて参ります。



国都審での任期2年 間を終えました

同路線については、今夏にはバス路線に関わる住民の皆様アンケート調査を実施頂き50〜60%の回答を頂いており、本件の一定の関心の高さが伺えます。本路線は、近隣の大和西大寺駅南側にロータリーが近年整備され、仮に「あやめ池線」を大和西大寺駅まで延伸運行された際にその利用効果も期待できる地域です。最終的な分析とともに、令和5年2月を目途とする奈良交通と奈良市の間での協議が待たれます。

奈良市の街づくりの重要な計画を決める都市計画について決定する際には、行政機関だけではなく、有識者や市民、議会の代表者で構成される奈良国際文化観光都市建設審議会が決定されることになっています。私は20名の委員のうち、議会からの4名の代表者の一人として令和2年9月から2年間にわたって委員を務めさせて頂きました。

8月に開催された報告では「奈良市都市計画道路網の見直し」があり

ホームページにて日々の活動を発信中!

太田こうじ 検索 
<https://www.otakoji.net>

各種 SNS でも情報発信しています!

 フェイスブック公式ページ
<https://m.facebook.com/otakoji.nara>
 Ameba 公式ブログ
<https://ameblo.jp/otakoji-nara/>

 フェイスブック公式ページ  Ameba 公式ブログ

ました。昭和41年に計画された都市計画の原型のうち、未着手のまま事業化の目的が立っていない都市計画道路29路線について、令和4年〜5年度にかけて道路状況や交通量などの現状把握、都市計画道路の必要性の検証を行い、6年度に継続か廃止か等、都市計画変更の手続きに入る予定です。